

ふれ愛ニュース 第163号

8月1日現在	広島	小手島	手島	合計
人口 男	88	24	12	124
女	107	18	9	134
合計	195	42	21	258
世帯数	143	25	21	189



ふる里とのつながりを未来へ～江の浦の取り組み～

広島を離れてからもふる里を想い、江の浦自治会とつながりのある島外の会員の皆様の多くがご高齢になり、近年その交流がだんだんと少なくなってきました。

そのような状況のなか『江の浦出身の方をはじめご家族の方々に、江の浦の"いま"をお伝えし、心のつながりを未来へと紡いでいきたい』との思いから、今年度の総会にて江の浦自治会の公式ホームページを開設しました。

出来る範囲で少しずつではありますが、これからホームページの内容を充実していき、広島にゆかりのある方々とのつながりを未来へ紡いでいきたいと願っています。

(下：島外の会員への手紙の抜粋)

暑中お見舞い申し上げます。

会員の皆様におかれましては、日々ご健勝のことと存じます。昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症、またウクライナ問題などの影響により世界中が大変な状況となっております。

そのような中、島は高齢化の続く状況ではありますが、この数年間での10名近くの移住者と共に「助け合い、支え合いながら、みんな仲良く楽しく」を合言葉に日々を過ごしております。

今年のお盆は8月6日(土)に墓地清掃をして、盆踊りは新型コロナウイルスの感染再拡大に伴い中止とすることにしました。令和4年度の自治会総会資料と船便の時刻表をお送りいたします。帰島の際にご利用ください。



江の浦自治会 公式ホームページ
<https://enoura.net>



「立ち漕ぎ」をやめたとき、人は大人になるのかもしれない

唐崎 翔太

学生服を身にまとう小柄な彼は、ものすごく急いでいた。あどけなさはあまり感じられないものの、袖にまだ余りがある。きっと「身長がまだ伸びるから」という理由でオーバーサイズの制服を着ている高校一年生なのだろう。

信号が青に変わるや否や、いや正確にはまだ変わってはいないけれど、彼は横断歩道を自転車で通過し始める。もちろん彼は「立ち漕ぎ」だった。

私も昔はいつも急いでいた。自宅から高校までは自転車で30分。遅刻しようものなら、道中の大半はずっと立ち漕ぎ。ただ、よくよく考えてみれば、特に急いでいない日も自転車を立ち漕ぎしていたように思う。駅に向かうとき、近くのスーパーに行くとき、私はずっと立ち漕ぎだった。周りの大人たちは、自転車で座っていたのだが。

大人と呼ばれる存在に自分になってみると、私も自転車で座っている。あの登校時間ギリギリを争っていた自分が、目的地に余裕を持って到着しようとするのだ。つまり、立ち漕ぎしなくても問題ないくらいに自転車移動に時間を費やす。

私は今も昔も、大人という言葉が嫌いだ。なぜなら、大人たちが「大人だから」という実は意味を全く持たない理由で物事を済ませようとしたり、逆に「子どもだから」という理由だけで彼らを蔑んだりするからである。私からすれば、大人なんて「大きい人」でしかない。大人もあくまで人なのだ。だからミスも失言もするし、誰かに意地悪をしてしまったりもする。子どもに偉ぶれるほどの大人は崇高な存在ではない。

と考えているにもかかわらず、立ち漕ぎの高校生に「子どもは元気だなあ」などと思ってしまう自分もいる。さもすると、大人になるとは立ち漕ぎをやめることなのかもしれないとさえ思えてくるのだ。逆に言えば、大人と子どもの差は「自転車を立って漕ぐか、座って漕ぐか」程度のものでしかないのだろう。

信号が青に変わる。今日くらいは、私も横断歩道を立ち漕ぎで渡ることにした。伸びた膝の分だけ、いつもより数十センチほど高く街を見下ろせる。この数十センチが大人の私を子どもに戻してくれるように思えた。

対岸の歩道まであと2m。ここで私の体は自然と沈み始める。横断歩道、いや子ども時代へのタイムスリップは残念ながらここで終わりらしい。

それはきっと私が私自身を大人として認識してしまっているからなのだろう。

いよいよ歩道の段差が目前に迫る。私はきっと「大人だから」、サドルに腰を据えなくてはならない。

ただこの日だけは、私の腰はサドルを拒んだような気がした。



『なにができよんな』 No.14 島歩き 案内所便り

7月末～8月に入って、コロナウイルス変異株による感染者の拡大が連日、ニュースで伝えられています。「また、増える！」と思わず声が出てしまいます。

以前のように『感染しない、感染させない！』この言葉を忘れず、これからの生活を、と考えます。

このことを踏まえて当案内所は8月末までお休みとさせていただきました。

9月に入って皆さまの笑顔と会える事を楽しみにしております。

新型コロナワクチン予防接種 4回目を実施

7月26日（火）に広島コミュニティセンターにて60歳以上、18歳以上で基礎疾患のある方などを対象としてワクチンの追加接種が行われました。

ワクチン接種で新型コロナウイルスを完全に予防できるわけではありませんが、免疫を上げることが期待できます。引き続き感染防止策（手洗い、マスク着用、密を避けるなど）は実行してくださいね。



食改 第2回 バランス教室

7月7日（木）10時から広島コミュニティセンターで第2回季節のバランス料理講習会を行いました。

時期的に暑くなつての講習会の為、特に食品の衛生面に気を配りました。又、レシピではスイートポテトをフードロスとの兼ね合いから皮つきのまま調理するようになっていましたが、彩りを考えて皮を剥いて作りました。

若い人向きの珍しいメニューに思えました。参加者も「こんな料理は家で作ったことがない」との声がありました。食後は「美味しかったね」の感想が多数でした。

- (メニュー)
- ★ ひじき入りふんわりつくね
 - ★ スイートポテトサラダ
 - ★ 洋風茶わんむし
 - ★ フルーツヨーグルト寒天ケーキ



シニアカフェ

食改で6月23日（木）赤い羽根共同募金によるシニアカフェを実施しました。夏みかんピール入りマドレーヌを作り、センターの方や自治会長さんに食べていただきました。



コミュニティカレンダー

2022年 行事予定表



9 月 (長月)

- 1日 (木) 二百十日
- 4日 (日) 出事 (立石)
- 7日 (水) 地区民生児童委員会
- 10日 (土) 秋祭り宵宮 (立石)
健幸の日
- 11日 (日) 秋例大祭 (立石)
一歩歩クラブ (江の浦)
- 13日 (火) 巡回診療 (手島)
- 14日 (水) 絵手紙の集い
八幡宮お祭準備 (手島)
- 15日 (木) 移動図書 (広島)
八幡宮お祭
(中止の場合あり) (手島)
- 18日 (日) よりみち会・敬老会 (立石)
- 19日 (月) 敬老の日
- 23日 (金) 秋分の日



10 月 (神無月)

- 5日 (水) 地区民生児童委員会
- 6日 (木) 移動図書 (小手島)
- 8日 (土) 塩釜神社秋祭り出事・
第3回さわやかロード (茂浦) 寒露
祭準備出事・さわやかロード (江の浦)
- 9日 (日) 塩釜神社御神事 (茂浦)
権現宮お祭・掃除 (手島)
広島神社祭 (江の浦)
- 10日 (月) 健幸の日 スポーツの日
- 11日 (火) 巡回診療 (手島)
- 12日 (水) 絵手紙の集い
- 16日 (日) 一歩歩クラブ (江の浦)
よりみち会 (立石)
- 20日 (木) 移動図書 (広島)
- 23日 (日) 霜降



友愛訪問

社会福祉部会は7月6日(水)暑い時期になるので、OS-1を70歳以上の独居の方と80歳以上の方にお配りしました。

広島愛育班では班員を募集しています。
保健師さんと連携をしながら、
頼り頼られ、つながりのある地域を
つくるお手伝いが出来ればと考えています。
健康情報、世代間・地域間の交流に
ご興味のある方は、どなたでも、
是非お声がけください。

広島愛育班 松下ちはる

NPO法人石の里広島

介護予防体操教室のご案内

- 9月14日 (水) 午前10時30分～
茂浦集会場
- 9月21日 (水) 手島自然教育センター
- 9月22日 (木) 午前10時30分～
デイサービスセンター
- 9月29日 (木) 午前10時20分～
コミュニティセンター
- 10月3日 (月) 午前10時30分～
茂浦集会場
- 10月19日 (水) 手島自然教育センター
- 10月22日 (木) 午前10時30分～
デイサービスセンター
- 10月29日 (木) 午前10時20分～
コミュニティセンター